

# 2023年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月14日

上場会社名 株式会社 ミスターマックス・ホールディングス  
 コード番号 8203 URL <https://www.mrmax.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 能章  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員財務部門管掌 (氏名) 石井 宏和  
 四半期報告書提出予定日 2022年7月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 福  
 TEL 092-623-1111

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年2月期第1四半期の連結業績(2022年3月1日～2022年5月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年2月期第1四半期	30,709	0.5	1,236	5.9	1,205	7.0	801	0.1
2022年2月期第1四半期	30,566	6.8	1,313	4.7	1,296	4.8	800	9.0

(注) 包括利益 2023年2月期第1四半期 792百万円 ( 2.0%) 2022年2月期第1四半期 808百万円 ( 10.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年2月期第1四半期	24.14	
2022年2月期第1四半期	24.13	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年2月期第1四半期	83,398	29,602	35.5
2022年2月期	82,216	29,706	36.1

(参考) 自己資本 2023年2月期第1四半期 29,599百万円 2022年2月期 29,699百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年2月期		0.00		27.00	27.00
2023年2月期					
2023年2月期(予想)		0.00		27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年 2月期の連結業績予想(2022年 3月 1日～2023年 2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	64,800	2.7	3,000	15.0	2,900	13.3	1,800	10.0	54.23
通期	127,800	2.4	5,000	11.4	4,800	10.4	3,000	5.1	90.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年2月期1Q	39,611,134 株	2022年2月期	39,611,134 株
期末自己株式数	2023年2月期1Q	6,418,300 株	2022年2月期	6,418,171 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年2月期1Q	33,192,917 株	2022年2月期1Q	33,193,665 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付書類の2ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年3月1日～2022年5月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が抑制され、消費活動が徐々に正常化に向かう一方、急激な円安による為替相場の変動やロシア・ウクライナ情勢に起因する資源価格の高騰など、景気の先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「普段の暮らしをより豊かに、より便利に、より楽しく」という経営理念のもと、総合ディスカウントストアとして、生活必需品を中心とした商品を毎日低価格で販売する「EDLP」の施策に注力してまいりました。2022年に入り、食品や消耗品の価格上昇が急激に進む中、3月10日から生活必需品を中心にPB商品1,000品目の価格凍結を行うなど、お客様の普段の暮らしを応援する取り組みを強化しております。

当第1四半期連結累計期間における全店売上高は294億65百万円(前期比100.4%)、荒利益高は68億40百万円(前期比101.2%)となりました。商品別売上では、昨年に比べ活発になった新生活需要を取り込むことで、エアコンや冷蔵庫、洗濯機などの家電が好調でした。また、外出の機会が増えてきたことから、自転車やキャリーバッグ、不織布マスクも好調に推移しましたが、巣ごもり消費の落ち着きから、日配品や生鮮食品が低調でした。

荒利益率は前年から0.2%増加し、23.2%となりました。原材料や輸送コストが上昇する厳しい局面ですが、PB商品の売上高構成比が上がったことに加え、計画的な仕入と販売、在庫管理を徹底した結果、荒利益率は向上しました。

店舗展開につきましては、2022年4月に「ミスターマックス食品館月隈店」を閉店いたしました。これに伴い、2022年5月末において57店舗を展開しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益(売上高+不動産賃貸収入+その他の営業収入)は307億9百万円(前期比100.5%)となり前年を上回りました。また、既存店における売上高前年同期比は99.6%となりました。

コスト面においては、店舗における人時数の削減効果などにより人件費が減少した一方、DX推進の一過性経費が発生したほか、電料料が増加するなどした結果、販売費及び一般管理費は、68億48百万円(前期比102.7%)となりました。

これらの結果、営業利益は12億36百万円(前期比94.1%)、経常利益は12億5百万円(前期比93.0%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億1百万円(前期比100.1%)となりました。市場環境は依然として厳しい状況にありますが、改装による既存店の収支改善を進めるとともに、生産性の向上やコスト削減を推し進め、業績向上に努めてまいります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (総資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ16億86百万円増加し、186億99百万円となりました。これは主として、商品の増加22億9百万円などによるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ5億5百万円減少し、646億98百万円となりました。これは主として、差入保証金の減少9億92百万円などによるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ11億81百万円増加し、833億98百万円となりました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ29億11百万円増加し、296億28百万円となりました。これは主として、短期借入金の増加20億円などによるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ16億26百万円減少し、241億66百万円となりました。これは主として、長期借入金の減少13億21百万円などによるものです。

この結果、負債は前連結会計年度末に比べ12億85百万円増加し、537億95百万円となりました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1億3百万円減少し、296億2百万円となりました。これは主として、利益剰余金の減少94百万円などによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月期の連結業績予想につきましては、2022年4月14日公表の予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,887	1,704
売掛金	2,645	3,573
商品	9,866	12,075
貯蔵品	40	43
その他	1,573	1,302
流動資産合計	17,012	18,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,439	14,005
土地	31,093	31,093
その他(純額)	4,320	4,193
有形固定資産合計	48,852	49,291
無形固定資産	1,036	1,027
投資その他の資産		
差入保証金	8,614	7,621
その他	6,756	6,813
貸倒引当金	△56	△55
投資その他の資産合計	15,314	14,379
固定資産合計	65,203	64,698
資産合計	82,216	83,398

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,412	8,935
電子記録債務	7,477	7,204
短期借入金	—	2,000
1年内返済予定の長期借入金	5,842	5,585
1年内償還予定の社債	286	286
未払法人税等	361	501
賞与引当金	861	1,194
資産除去債務	5	5
その他	4,470	3,916
流動負債合計	26,717	29,628
固定負債		
社債	1,714	1,571
長期借入金	15,316	13,995
退職給付に係る負債	1,082	1,078
資産除去債務	1,162	1,167
その他	6,516	6,353
固定負債合計	25,793	24,166
負債合計	52,510	53,795
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,229	10,229
資本剰余金	7,980	7,980
利益剰余金	14,081	13,986
自己株式	△2,603	△2,603
株主資本合計	29,688	29,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53	44
為替換算調整勘定	5	5
退職給付に係る調整累計額	△47	△44
その他の包括利益累計額合計	10	5
非支配株主持分	6	3
純資産合計	29,706	29,602
負債純資産合計	82,216	83,398

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)
売上高	29,345	29,465
売上原価	22,582	22,624
売上総利益	6,762	6,840
営業収入		
不動産賃貸収入	964	962
その他の営業収入	256	281
営業収入合計	1,221	1,243
営業総利益	7,984	8,084
販売費及び一般管理費		
販売費	1,334	1,386
一般管理費	5,335	5,462
販売費及び一般管理費合計	6,670	6,848
営業利益	1,313	1,236
営業外収益		
受取利息	8	7
補助金収入	—	6
保険配当金	—	7
貸倒引当金戻入額	14	0
その他	25	8
営業外収益合計	48	30
営業外費用		
社債利息	—	0
支払利息	48	45
その他	17	14
営業外費用合計	65	60
経常利益	1,296	1,205
特別利益		
受取保険金	2	8
特別利益合計	2	8
特別損失		
災害による損失	14	8
固定資産除却損	5	0
退店関連損失	—	19
特別損失合計	20	28
税金等調整前四半期純利益	1,278	1,185
法人税、住民税及び事業税	443	469
法人税等調整額	40	△82
法人税等合計	483	387
四半期純利益	795	797
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	800	801

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)
四半期純利益	795	797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△8
為替換算調整勘定	5	0
退職給付に係る調整額	6	2
その他の包括利益合計	12	△5
四半期包括利益	808	792
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	811	795
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	△3



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日 以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。